

平和の尊さ心に刻む ~広島平和記念式典に参加~



■原爆の子の像を前に平和を誓う参加者の皆さん

8月5日・6日の両日、市内小学校の6年生の代表が広島平和記念式典に参加しました。これは、二度と繰り返してはならない戦争・原爆の悲惨さと平和の大切さを深く認識してもらうことを目的に毎年実施しているものです。今年は例年より5名多い15名が参加しました。

5日は、平和記念公園内の原爆の子の像に市内各小学校などから託された折り鶴を捧げ、原爆ドームや資料館を見学し、宿舎では語り部さんから被爆

体験を聞きました。

6日には、平和記念式典に出席し、犠牲者の冥福を祈るとともに、核兵器廃絶の願いと平和への誓いを新たにしました。

平和への思いを胸に

(参加された児童の皆さんの感想文から抜粋)

平和を願う強い意志

語り部の吉岡さんの話を聞いて、たった一発の原爆のせいで苦しむ人がたくさん出てしまうようなことは、二度としてはならないと思いました。そのためには、核兵器をなくしていくことが大切だと思います。そして、ぼくたち一人ひとりが平和を願う強い意志を持つことこそ、この世から戦争や核兵器をなくす、唯一の方法だと思います。

平和への願い

平和記念式典で子ども代表の方がお話ししていたように、原爆と戦争の事実、平和の大切さを次の世代の人たちに伝えていかなければいけないと思います。そのために、私はまず友だちや身近な人に広島で勉強してきたことを伝えていきます。

原爆の恐ろしさ

平和な町が一瞬にして焼けこげ、人々も丸こげ。自分の目で真実を見て、あまりのひどさに言葉が出ませんでした。特に心に残っているのは、資料館での原爆被災者の状況を示す模型で、生き残った人々でも手や足は高温で皮膚がはがれてたれ下がり、服はボロボロ

でした。熱でひびついたビンや折れ曲がった瓦、広島の間が火の海。原爆がどれほどすごいかわかりました。

原爆ドームから

あんなに丈夫そうなレンガ造りの建物が、コンクリートは溶け、爆風でレンガは下に落ち、屋根はなくなつて鉄骨だけになっていて、爆発した時の恐ろしさや悲惨さが伝わってくるようで怖かったです。

命の重さ

平和であることは、とても大切なんだ。私たちはこれからも二度と戦争というものをしてはならないんだ。人命の重さは持ち上げられないほど重たいんだ。これからも、平和を大切にしていきたい。

問い合わせ

総務課 総務係
☎65-0663 FAX 63-4554

全ての人々が平和に暮らせよう

千羽鶴に願いを込め
デイサービスセンターすこやか荘

戦争がなくみんなが平和に暮らせる世の中であってほしいというのが誰もの願いです。

そんな思いから、デイサービスセンターすこやか荘では毎年この時期に千羽鶴を折り、広島平和記念式典に参加する児童の皆さんに預け思いを託されています。

今年も色とりどりの丁寧に折られた鶴が届き、すこやか荘の皆さんの思いは児童によって広島へ届けられました。



■平和への思いを込めて折られた千羽鶴とすこやか荘の皆さん (市役所甲賀支所)

広島平和記念事業に参加した皆さん (敬称略)

綾野小学校
綾野小学校
綾野小学校
伴谷小学校
伴谷小学校
貴生川小学校
水口小学校
大野小学校

川口 竜弥
湯上 奈子
西井 脩人
丹下 莉代
渡辺 航平
鵜飼 克典
川口 歌奈子
中村 楓佳

油日小学校
大原小学校
甲南中部小学校
甲南第一小学校
甲南第二小学校
信楽小学校
雲井小学校

尾堂 紀香
雲 優華
木村 彩華
西山 慧朗
渡邊 健一
黄瀬 高
小松 悠